

## 産業廃棄物処理計画書

平成 26年 6月 30日

大分県知事 殿

提出者

住 所 大分市中島西3丁目5番1号

氏 名 株式会社 佐伯建設

代表取締役社長 川崎栄一  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 097-536-1530

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 佐伯建設
事業場の所在地	大分市中島西3丁目5番1号
計画期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	130億
③従業員数	180人
④産業廃棄物の一連の処理工程	別紙添付

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項						
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
①現状	【前年度（平成 25年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他のがれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック
	排出量	2904 t	880 t	668 t	7 t	142 t
	(これまで実施した取組) コンクリートがら(分別解体、建築構造物として再利用) アスコンがら(余剰材を抑制、路盤材として再利用) その他のがれき類(分別資源化) ガラス陶磁器(分別資源化) 廃プラスチック(分別資源化)					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他のがれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック
	排出量	2750 t	830 t	630 t	7 t	135 t
	(今後実施する予定の取組) コンクリートがら(分別解体、建築構造物として再利用) アスコンがら(余剰材を抑制、路盤材として再利用) その他のがれき類(分別資源化) ガラス陶磁器(分別資源化) 廃プラスチック(分別資源化)					
産業廃棄物の分別に関する事項						
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)					
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)					

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項						
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
①現状	【前年度（平成 25年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	金属くず	建設汚泥	木くず	紙くず	繊維くず
	排 出 量	92 t	434 t	426 t	88 t	1 t
	（これまでに実施した取組） 金属くず（分別再資源化） 建設汚泥（脱水） 木くず（梱包材・余剰材の削減、分別資源化） 紙くず（梱包材・余剰材の削減） 繊維くず（ウェスとして再利用）					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	金属くず	建設汚泥	木くず	紙くず	繊維くず
	排 出 量	88 t	410 t	400 t	85 t	1 t
	（今後実施する予定の取組） 金属くず（分別再資源化） 建設汚泥（脱水） 木くず（梱包材・余剰材の削減、分別資源化） 紙くず（梱包材・余剰材の削減） 繊維くず（ウェスとして再利用）					
産業廃棄物の分別に関する事項						
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）					
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）					

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項					
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
①現状	【前年度（平成 25年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	混合(安定型)	混合(管理型)	廃石膏ボード	残土
	排 出 量	230 t	464 t	248 t	957 t
	(これまで実施した取組) 混合(安定型)(なし) 混合(管理型)(なし) 廃石膏ボード(余剰材の削減) 残土(なし)				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	混合(安定型)	混合(管理型)	廃石膏ボード	残土
	排 出 量	220 t	440 t	235 t	910 t
	(今後実施する予定の取組) 混合(安定型)(なし) 混合(管理型)(なし) 廃石膏ボード(余剰材の削減) 残土(なし)				
産業廃棄物の分別に関する事項					
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)				
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)				

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
①現状	【前年度（平成 25年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項						
①現状	【前年度（平成 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)					

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
①現状	【前年度（平成 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	【前年度（平成 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	全処理委託量	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)					

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	全処理委託量	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)					
※事務処理欄						





#### ④産業廃棄物の一連の工程処理

・コンクリートがら		
中間処理に委託	→	再生砕石として再資源化
・アスコンがら		
中間処理に委託	→	再生砕石として再資源化
・ガラス・陶磁器くず		
中間処理に委託	→	再生路盤材として再資源化
・廃プラスチック		
中間処理に委託	→	焼却・熱回収
・金属くず		
中間処理に委託	→	再利用
・木くず		
中間処理に委託	→	再生ボードの原料として再利用 焼却・熱回収
・紙くず		
中間処理に委託	→	再生紙として再利用・焼却・熱回収
・繊維くず		
中間処理に委託	→	ウェスとして再利用・焼却・熱回収
・廃石膏ボード類		
中間処理に委託	→	管理型埋め立て
・混合(管理型)		
中間処理に委託	→	選別・処分
・廃石綿類		
中間処理に委託	→	埋め立て